
三脚少年

閉まれドア

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

三脚少年

【著者名】

N4478C

【作者名】
閉まれドア

【あらすじ】
中学3年の春・・・俺は三脚少年と出会った。

第一話（前書き）

この小説はフィクションです。

第一話

俺が三脚少年と出会ったのは、中学3年の春だった。

その日は新学期、始業式を終えた俺は新しい教室、3年2組へと向かつた。

友人達と楽しく談話して暇を潰していると、やがて先生が来た。

教室の雰囲気は変わり、皆急いでそれぞれの席へと戻る。

そこまでは誰でも想像できる光景であろう。

でも・・・これ以降は、少なくとも俺、富良幸司には深く印象に残る中学校生活最後の思い出の・・・始まりであった。

「まず最初に、転入生を紹介したいと思つ。」

そう先生は言つて、ドアを開ける。

ドアから現れたのは一人の少年であつた。

「今日から転入してきた平賀駿君だ。」
ヒラガシユン

ぐく普通の身長だけ少し痩せ細つていて印象を俺は持つた。

学ランの袖から出でている手は細く、白かつた。

休み時間になると一斉に平賀に人が群がる。

転入生というのは初日は忙しいものだ。

皆転入生を珍しがるのだから。

何故だか知らないが好意が自然と湧くのだ。

俺はその様を見ながらふと考え込んだ。

中学三年生になつて転校していく気持ちってどんなものなのであるうか。

中学は義務教育の最終年である。

高校受験で小学校時代からの多くの多くの仲間とは離れ離れになるであろう。

だから中学は最後までそつから動きたくない。

転校なんてしたくない。

そう思うのが普通であろう。

しかし平賀は中学3年生になつて転入してきた。

今まで育んできた仲間との友情が、途切れたのである。

最終学年を目の前にして・・・。

修学旅行を田の前ににして・・・。

3年生のビッグイベントと言つたり修学旅行。

3年間、長ければ9年間同じ校舎で学んできた仲間との行事。

平賀はそんな修学旅行を、知り合ひて1ヶ月弱の人達と過ごせなければならぬのだ。

考えると虚しくなる。

彼は一体、どういう気持ちでの席に座つて話をしているのだろう・・・。

その日は特に用事も無く、俺は学校が終わるとすぐに帰路へとついた。

俺の中學、伊間原中學校は海沿いにある。

時々海岸を歩きながら帰つたりもしている。

絶好の晴れ模様。

太陽の光を受けエメラルドグリーンの海は輝いていた。

この石垣島などの沖縄の海は日本で一番美しいらしい。

日本本土の海とは比べ物にならないと世間は言つ。

かつて友人が横浜に行つて横浜港を見たといつ。

その海はやつぱつ世間が言つよつに汚く、『ヨリ』がそこの中に浮いていたといつ。

俺にはそんな海の光景が浮かび上がらなかつた。

俺は沖縄以外の海を見た事が無い。

行つた事があるのは沖縄本島や大阪ぐらいで本島の海は見ていない。

エメラルドグリーンのこの海しか知らないんだ。

少し歩いていると、その先で誰かが海を撮つているのが見えた。

カメラ用のスタンドらしきものを立て、姿勢を屈めてカメラを操作していた。

学ランなので、ウチの中学生の人なのであらうと俺は思つた。

しかし・・・始業式にわざわざスタンドなんか持つてきて今日海を撮るヤツなんているのか？

そんな疑問と共に、一歩一歩、その少年へと近づいてゆく。

顔がはつきりとしてくる。

そして誰だか分かつた。

平賀駿だ。

白い顔で一目で分かつた。

この島で暮らしてゐる人は大抵日焼けしているのだ。

しかし・・・何故写真を撮つてゐるのであらうか。

そう新たに疑問が湧くも、流石に質問する勇氣は無かつた。

真剣そうな顔でデジカメで写真を撮る平賀の表情をチラツと見た後、俺はその場から足早と立ち去つた。

続く

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4478c/>

三脚少年

2011年1月27日12時43分発行